平成２６年６月３０日（第２号）

セミナー通信

―教育実習総合センター―

西脇小学校　観察実習を終えて　P1

５月２１日（水）、西脇小学校を訪問した。明治６年創立の歴史ある学校の風格に一同圧倒された。今は懐かしい木造の校舎、音の出る階段、多くの子どもたちが踏みしめた中央がへこんだ一段一段。校舎の全てに歴史があふれていた。

校長（教頭）講話から学んだこと

（原文のまま掲載）

森本　寿文　校長先生

様々な角度から子どもに共感することの重要性”を語ってくださった。子どもに共感するとは、子どもの視点を持って考えること、自らの指導や学級の様子を客観的に観察すること、個々の子どもの家庭環境を深く理解することなども求められる。それをなくして子どもたちに、教科や人権教育を理解できるように指導することは出来ないし、子どもを褒める・叱るといった評価を適切に行うことも難しい。また、上手くいかなかったこと、子どもの間違いを“自分自身に返す”姿勢を大切にしたい。人は社会的生物”で、社会を形成するために、他者との繋がりを生み出す他者への共感が不可欠である。教師もまた学校で生きていくためにに子どもを含めた他者との共感が必要である。

０男

「子どもたちが分からない理由の責任は、教師にある」という言葉が心に残った。子どもたちが分からないことに何の罪はない。分からない原因は、教師が分からない説明をするからだ。教師は、常に自分の姿を振り返り反省する姿勢を持つべきだと思った。子どもたちが自分の思い通りにならない。まず、自分を振り返ることを忘れてはいけないと、分かった。これは自分の向上にも繋がる。そこで満足すると自分の成長もそこで止まる。これからは、前を向いて走っているばかりでなく、時には立ち止まり、自分を振り返ることを忘れないようにしたい。

ｋ子

（新任先生頑張る！）
先輩からのメッセージ

「忙しい中で、小さな積み重ねを」

赤穂市立尾崎小学校

古賀　美和子　先生

大学院を卒業し、４月に採用さされてから二ヶ月がたちました。

毎日、その日を振り返る暇もないほど一日一日があっという間に過ぎていった二ヶ月でした。現場での生活はとにかく「忙しい！」の一言。大学院の頃は、「きちんと教材研究をして」「毎日、子どもたちと遊んで」と思っていましたが、思い描いていたようにはいきません。毎日６時間ある授業、遠足、運動会、参観日‥‥等たくさんの行事、割り当てられた校務分掌、そして１年目はたくさんの研修もあります。子どもたちは、トラブルも起こします。毎日、これでいいのかな？と不安で過ごしてきました。そんな中で、同僚の先生から言われたことは、「大きなことをやろうとせず、小さなことを積み重ねていくことが一番大事」と。そして、これは私の解釈ですが、成功を積み重ねることが大事なのではなく、真摯に考え、取り組む努力を積み重ねることが大事かなと思っています。

忙しいけれど、現場での生活は本当に充実しています。未来の子どもたちのために、大学院の今のうちにたくさんの知識を吸収してください。

猪名川町立

つつじが丘小学校

久保　公美　先生

この２ヶ月を振り返って見ると、毎日慌ただしく過ぎ去っていって、気づけば早かったなあと感じます。

毎日の担任の仕事に加え、学校の事務的な作業や日々の授業の教材研究に追われ、一日一日があっという間に過ぎていきます。改めて、教師という仕事の多忙さが身に染みた２ヶ月でした。

また、自分が初めて学級担任を受け持ち、責任の重さを強く感じています。当たり前だと思いますが、クラスの子どもたちを一年間預かることは、本当に責任の重いことだと・・、５月初めの家庭訪問で保護者と子ども一人一人について話したときにそのことを痛感しました。一方、教師の仕事のやりがいや楽しさを感じたことも確かな事実です。

子どもの素朴で純粋な感覚や発想に触れたり、「わかった！」「なるほど」という顔を見たりすると、大変なことも吹っ飛び、教師になってよかったと感じています。

反省することの多い毎日ですが、子どもたちのために自分も日々努力し勉強していかなければと思います。

※26年度兵庫の教育「指導の重点」

基本理念

兵庫が育むこころ豊かで自立した人づくり
―学び、育て、支えるひょうごの教育―

【めざすべき人間像】

○知・徳・体の調和がとれ、自立して生涯にわたって自らの夢や志の実現に努力する人
○ふるさとを愛し、互いに支え合い協力しながら、明日の兵庫を切り拓き、日本の未来を担う人
○我が国の伝統と文化を基盤として、創造性やチャレンジ精神をもって国際社会に貢献できる人

４つの柱

１．自立して未来に挑戦する態度の育成
  社会的自立に向けたキャリア平成の支援
  兵庫型「体験教育」の推進
  グローバル化に対応した教育の推進
２．「生きる力」を育む教育の推進
  「確かな学力」な学力の育成
  （確かな学力、ことばの力、理数教育、情報教育）
  「豊かな心」の育成
  （道徳教育、人権教育・多文化共生社会の実現を目指す教育、環境教育、防災教育）
  「健やかな体」の育成
  （体育・スポーツ活動、健康教育・安全教育）
  幼児期の教育の充実
  特別支援教育の充実
３．子どもたちの学びを支える仕組みの確立
  学校組織力及び教職員の資質能力の向上
  （教職員の協働体制、児童生徒理解に基づく生徒指導、教職員としての資質と実践的指導力、学習指導、学級経営）
４．すべての県民が学ぶ生涯学習社会の形成
  生涯を通じた学びの充実
  文化財の保存・活用
  「スポーツ立県ひょうご」の実現

★お知らせコーナー★

P2・P3

前期セミナー終了後（７月９日～８月２０日）、希望により個人面接の練習を受付します。６月３０日から、教育実習センター入口に張り出す表に希望日時を記入してください。
一人一日一回。一会場一名。

※備考
１　受験希望地の資料（問題）を持参してください。
２　グループ面接は、別途相談に応じます。
３　第３、第４会場は、日によって変更があります。

理解していますか、教育法規

（欠格条項）
１．「地方公務員法第１６条」
（欠格事由）
２．学校教育法第９条
　次の各号のいずれかに該当するものは、校長又は教員になることができない。
(1)成年被後見人又は被保佐人
(2)禁固以上の刑に処された者
(3)教育職員免許法第 10 条第 1 項…
(4)教育職員免許法第 11 条第 1 項…
(5)日本国憲法施行の日以降に…

セミナー
本格化！

- 個人面接
- 模擬授業
- 場面指導
- ﾛｰﾙﾌﾟﾚｰ
- 集団面接

勝負の月！
実践力ＵＰ

★教員採用に向けて★

７月の声を聞くと、間もなく教員採用試験！少し気持ちが落ち着かない人もあるかもしれません。

各都道府県が出している「求める教師像」を今一度、再確認しておきましょう。また、教育時事は、教師としてどのように対応するのかを考える枠組みだと捉えることです。子どもたちが、学校大好き、先生大好き、友だち大好き、この町大好きと笑顔いっぱい、明るく元気な声で言えるよう、まずは、一次試験突破を目指しましょう。

受験する人はみんな同じ心境です。人に飲まれることなく、自信を持ち、しっかり問題を読み、落ち着いて試験に臨みましょう。ともにがんばりましょう。

▼「教採選考」の変更点

(埼玉県)
・２次試験で論作文を復活し、実技を廃止
(茨城県)
・採用枠が大幅に増加。
(大阪市)
・1 次試験の筆記、30 問９０分。
　集団面接３０分。
(兵庫県)
・英語検定１級等への選考配慮。採用地域希望優先制度あり。水泳の実技なし。
(山口県)
・小学校の受験者で、中学校又は高等学校の数学、理科又は外国語（英語）の普通免許状を所有している者考慮。
(福岡市)
・第一次試験対象者の拡大
(鳥取県)
・小学校外国語活動に関する実技が加わる